

各 位

会 社 名 朝日インテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 宮田 昌彦
 (東証第一部・名証第一部 コード番号：7747)
 問 合 せ 先 取締役 管理本部長 伊藤 瑞穂
 (TEL. 0561-48-5551)

2022年6月期第2四半期累計期間の予想と実績値の差異に関するお知らせ

2021年8月13日に公表いたしました2022年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異 (2021年7月1日～2021年12月31日)

	売上高	のれん償却費 等を除く 営業利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益(円)
前回発表予想(A)	36,784	7,470	6,661	6,639	4,818	17.74
実績値(B)	37,702	8,902	8,101	8,590	6,383	23.54
増減額(B-A)	+917	+1,432	+1,439	+1,950	+1,565	+5.80
増減率(%)	+2.5	+19.2	+21.6	+29.4	+32.5	-
(ご参考) 前期実績(2021年6月期中間)	28,301	6,261	6,186	6,097	4,451	17.08

(金額の単位：百万円)

2. 差異及び修正の理由

<第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績の差異内容について>

当期業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響が、一部地域を除き回復する前提にて策定しておりましたが、米国・欧州などでは感染症拡大の影響による症例数の回復が想定より遅れております。しかしながら、為替動向が円安に推移したことや、メディカル事業の中国市場での売上が、需要増加に伴い大幅に予想を上回ったこと、デバイス事業が医療部材・産業部材ともに想定以上に好調に推移したことなどから、売上高は予想値を上回りました。

のれん償却費等を除く営業利益及び営業利益は、売上高が好調なことに比例し売上総利益が想定を上回ったことや、販売費及び一般管理費について、発生遅延や、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限され一部が未使用になったことなどから、予想値を上回りました。

経常利益は、為替差益の増加により予想値を上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年7月1日付の買収に伴う企業結合に関連し、段階取得に係る差益が発生し、特別利益が増加したことなどから、予想値を上回りました。

このような状況から、第2四半期累計期間につきましては、売上高・のれん償却費等を除く営業利益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益について業績予想値と実績値に差異が生じました。

<通期の業績予想について>

第2四半期累計期間の業績は当初予想に比べて好調に推移いたしました。通期の業績予想につきましては現在の予想数値を据え置いております。

現時点において、メディカル事業の中国市場やデバイス事業などを中心に業績は順調に推移しておりますが、国内外の大半の地域において新型コロナウイルス感染症の動向が不透明な状況の為、症例数動向や活動割合が未知数なことや、販売費及び一般管理費の遅延分の発生が見込まれること、為替動向が不透明なことなどを複合的に考慮し、2021年8月13日に公表いたしました通期の業績予想からの修正は行っておりません。

改めて通期の業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

なお、配当予想につきましては、現在のところ変更はありませんが、長期にわたり安定的な配当を継続して実施することを基本方針として、今期の最終連結業績、今後の業績見通しなどを総合的に判断して決定する所存であります。

※業績予想に関する留意事項

上記の予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としております。従いまして、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以上